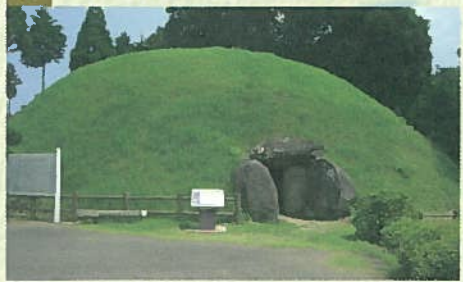


古墳群散策

巨石古墳の謎
鬼の棲家を巡る



1 掛木古墳 (国史跡)



6世紀末頃に造られた円墳。造られた当時は直径が30mほどあったと推定されています。県内で唯一、くり抜き式家形石棺が置かれた古墳です。

2 百合畑古墳群



この地域には23基の小規模な古墳が集中しています。百合畑古墳園ではそのうち6基を見ることができます。

3 生池



近くの水神社の末社のひとつ。昔は広さ30mほどの池があったそうで、河童がここで人を生け捕りにしたので「生池」と呼ぶようになったとも云われています。

4 生池城跡



16世紀、倭寇であった松浦党の源壹(みなもとのいち)が築城したと伝わる山城。雑木林に覆われた城山の山頂に二重の空堀と石垣が残っています。

5 笹塚古墳 (国史跡)



円盤状の台座の上に直径約40mの円墳が造られた二段構造の古墳。石室内からは世界でただ1つの亀形の金銅製品など貴重な遺物が出土しており、そのうち162点が重要文化財に指定されています。また、石室には、漢字が伝わる以前に古代日本で使われていたといわれる「神代文字」が刻まれているという記録もあります。

6 双六古墳 (国史跡)



6世紀中頃に造られた、全長91mを誇る県下最大の前方後円墳。石室入口は施錠されており立ち入ることができませんが、一番奥は4~5段にわたって横長の大きな石材を積み上げたドーム型の天井があり、当時の技術の高さをうかがうことができます。

7 百田頭古墳群



8基の円墳からなる古墳群。6世紀中頃に造られ、7世紀まで追葬されたようです。古墳に使われていた石に船の線刻画が描かれている古墳があります。

8 兵瀬古墳 (国史跡)



直径約54mを誇る九州で最大の円墳。その大きさや巨石で作られた石室の様子から、かなりの有力者のお墓だったと考えられています。

9 鬼の窟古墳 (国史跡)



前室・中室・玄室の三室と羨道からなる長さ約17mの石室は、県内最長で、九州でも屈指の規模を誇っています。江戸時代の書物『壹岐名勝図誌』にも見物客がたくさん訪れるという記載があり、その当時から人気の観光スポットだったことがうかがえます。

至 勝本

至 湯の本

至 郷ノ浦

至 芦辺

●レストラン清風
●森林漁業体験実習館

吉岐風民の郷

道元古墳

●吉岐風土記の丘

1 掛木古墳

森林浴コース

懐かしい里山の風景

百合畑古墳群

2

空堀の底に入ってみよう!

生池城跡

3 生池

コウモリに会えるかも!

5 笹塚古墳

森林浴コース

サイン位置

炭焼き小屋

7 百田頭古墳群

船の線刻画を探してみよう!

山ノ神古墳群

8 兵瀬古墳

堂々たる巨石古墳!

鬼の窟古墳

9



地名の由来となった亀の形の
大石

県下最大の
前方後円墳!

6 双六古墳



大清水池をめぐる
サイクリングロード



双六古墳石室の石積み



兵瀬古墳の線刻画



こウモリの親子

●こくふ開拓公民館

釜蓋古墳群

至 芦辺